

中世のくらしと木の道具

富山市北東部にある小出城跡、水橋金広・中馬場遺跡は、白岩川・小出川流域の低湿地に立地する城跡と館・集落跡です。豊富な地下水に恵まれた自然環境により、通常は残存しにくい木の道具が良好な状態で保存されていました。

生活の様々な場面で使われた木の道具は、木を活かした中世のくらしぶりを具体的に伝えてくれます。

◆小出城跡

(1)遺跡のあらまし

この城では、天正 9～11 (1581～1583) 年、織田方(佐々成政)と越後の上杉方(上杉景勝)の間で激しい攻防戦が繰り広げられました。推定規模は南北約 270 m・東西約 150mで、発掘調査では堀の一部が確認され、複数の曲輪があった可能性があります。戦時には、周辺の低湿地を活かして敵の攻撃を阻んでいました。

(2)城内での生活を物語る木の道具

堀や井戸などから多数の木製品が出土しました。戦闘の一端を垣間見る長刀の柄のほか、日常生活に使用した漆器(椀・皿)・折敷・箸・織機部材・糸巻・紡錘車・櫛・下駄(大人用・子供用)・曲物・柄杓・タモ網枠・竹製の編み物(箕)・井戸枠・木筒などがあります。

なかでも漆器は 70 点を超える数が出土しました。井戸を埋める時の祭りでは、たびたび漆器や箸が埋納されました。黒い漆を塗った後、赤い漆で鶴丸・植物・俵・扇などの文様が描かれたものが多くあります。そのほか漆の容器とみられる曲物やへら状木製品などもあり、職人を招き入れて漆器を製作したと考えられます。

そのほかの木道具からも、糸を紡いで機を織る女性たちや小さな下駄を履いた子供たち、タモ網で獲ってきた川魚料理がならぶ食卓といった、平時における生活的一幕を復元することができます。

◆水橋金広・中馬場遺跡

(1)遺跡のあらまし

溝で方形に区画された館跡の内部に、多数の掘立柱建物・井戸・土坑・竪穴状遺構を検出しました。なかでも井戸は 187 基にも及びます。

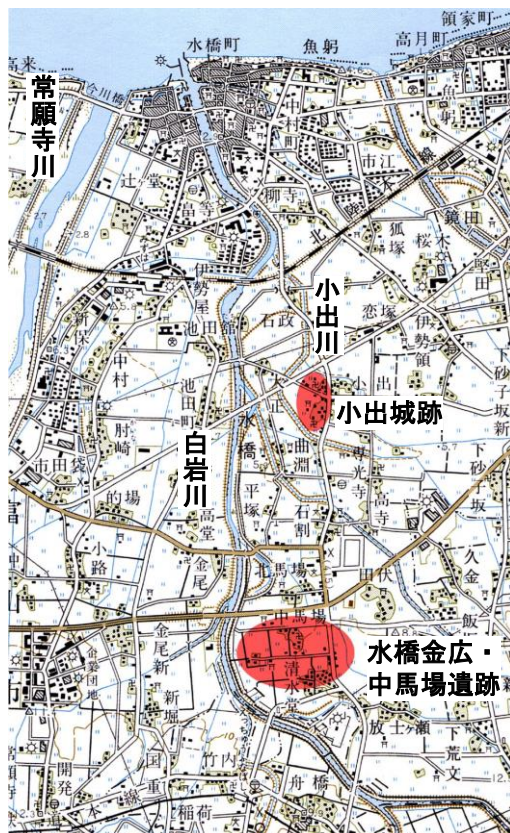


図1 遺跡の位置



写真1 「鶴丸」漆器出土状況
多彩な文様の漆器がある

中世前期（鎌倉・室町時代）には新川郡西部に広がっていた高野^{たかののしょう} 荘の荘園経営に関わった村落領主の館があり、中世後期から近世前期（戦国～江戸時代前期）には川魚漁や水田農耕を生業とした集落の屋敷地があったと推測されています。

(2)館・集落での生活を物語る木の道具

大溝や土坑、井戸から多数の木製品が出土しました。漆器（写真1）・櫛^{くし}・下駄^{いともき}・糸巻（写真2）・竹製の編み物（箕）・井戸杵^{まげもの}・曲物^{おけ}・桶^{よこづち}・箱板^{よこづち}・横槌^{よこづち}・雪バンバ（雪かき具）^{そう}・槽^{そう}などがあります。



写真2 紡いだ糸を巻きつける糸巻

中世前期の館の北辺を区画する大溝では、呪符木簡^{じゆふもつかん}や漆器、箸が出土し、何らかの祭りが行われたと推測されます。

中世後期の屋敷地からは、国内唯一の完全形を保った厚板状の双六盤^{あついたじょう}（写真3）^{すごろくばん}が出土しました。時には人びとが屋敷に集い、双六に興じていたようです。



写真3 出土した双六盤

江戸時代前期の井戸の水溜^{みずだめ}には、ヤスを多数線刻した木摺^{せんこく}（写真4）^{きすり}があり、魚をヤ

スで突く様子が抽象的に表現されています（図2）。豊穰の象徴である臼に漁具を描き、豊漁を祈願したのでしょう。

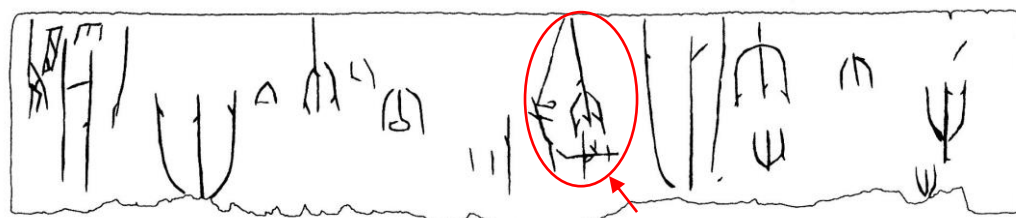


図2 木摺臼に線刻されたヤス

魚をヤスで突く様子

白岩川流域の村々では、江戸時代には鮭^{さけ}・鱒^{ます}・鮎^{あせ}に対する税金（河川役）^{かせんやく}が課せられており、農繁期を終えた10～12月には大規模な漁が行われたと考えられます。「イケス」とみられる竪穴状遺構や川魚の加工用とみられる井戸が多数あり、ヤス・土錘^{どすい}（漁網のおもり）・タモ網杵などの漁具が出土したことから、この集落は川魚の漁や加工の拠点であったと考えられます。

そのほか、横杵^{よこぎね}・田下駄^{たげた}などの農耕具や、柱^{はしら}・礎板^{そばん}（柱の沈みを防ぐもの）などの建築部材も出土し、当時の米作りや建物構造を知る上で貴重な資料となっています。

◆木材の利用と調達

出土した建築部材には、縦割り材を取りやすく環境変化への耐久性のあるスギが、食器類には、強度が強く加工しやすいブナ属が主として用いられました。中世の人びとは木の性質を熟知し、用途に応じた樹種を上手に選択していたのです。

小出川縁には船着場の存在を示唆する「船場屋敷」の地名があり、白岩川・小出川の水運が、山間部に生育するスギなどの木材調達のほか、川魚の輸送等にも重要な役割を担っていたと考えられます。

おもな参考文献 富山市教育委員会『富山市水橋金広・中馬場遺跡発掘調査報告書』2001・2006年
富山市教育委員会『富山市小出城跡発掘調査報告書』2007年
納屋内高史「出土品から見た富山市北東部の植物利用」『富山市の遺跡物語』第14号2013年富山市埋蔵文化財センター
高岡徹「小出城とその攻防戦の実態」『富山市考古資料館紀要』第26号2007年富山市考古資料館